

第4章 トップスポーツクラブ・球団ファンの ソーシャルキャピタル

「ソーシャルキャピタル」(SC)は特定の集団を構成する人々の間に「どれくらい交流があるか(ネットワーク)」「どれくらい互いに信頼しているか(信頼)」「どれくらい同じ価値観をもつか(規範)」といったことを評価する概念である。SCが高い社会集団では自発的な交流が活発に行われ、社会課題の解決が促進されたり、公共意識が活性化したりする。すなわち、SCの蓄積は社会に対するポジティブなインパクトを与えるとされる。

ここでは、トップスポーツ組織が地域に存することの意義を考えるため、スポーツファンと非ファンのSCの特徴について調査した結果を報告している。

◆ 「ソーシャルキャピタル」という概念について

ソーシャルキャピタル（SC）とは、「人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を高めることのできる、「ネットワーク」「信頼」「規範」といった社会組織の特徴」（パットナム、2001；内閣府、2003、p.16-17）とされ、教育、健康、治安といった市民生活や、雇用の安定、技術革新など経済面で肯定的な影響を与える（内閣府、2003）と言われている。

パットナムの理論によれば、人々の間に相互に信頼する感覚や互いに仲間であるとみなす連帯の意識、同じルールにしたがっている者どうしであるという規範意識があるとき、自発的結社（ボランティア組織、NPO組織、趣味のサークルなど）の組織化や社会課題や公共問題への人々の参加が活発化する。また、市民間の交流が活発化し、政治的有効性の感覚（自分たちが社会を変えていけるという感覚）も形成される。

すなわち、特定の社会集団にSCが蓄積されると当該社会に生じる社会課題の解決がしやすくなったり、自発的な人々の交流が活発になり、社会に対してポジティブな効果をもたらすことになる。

◆ ソーシャルキャピタルを構成する要素

ソーシャルキャピタルは、以下の構成要素から成るとされる。

- ① **ネットワーク**：近隣でのつきあいや社会的な交流を捉えた「つきあい・交流」の要素
- ② **信頼**：他人に対する一般的な信頼と特定の人を対象とした相互信頼・相互扶助を捉えた「信頼」の要素
- ③ **規範**：互酬性の規範のあらわれとして社会的活動への参加をとらえた「社会参加」の要素

- R. パットナム、河田潤一訳『哲学する民主主義—伝統と改革の市民的構造』NTT出版、2001
- 内閣府「ソーシャル・キャピタル：豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」2003

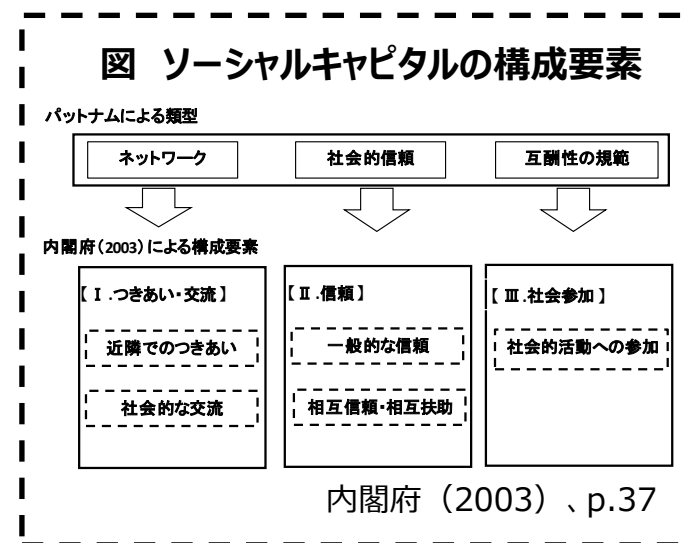
◆ 先行研究にみるソーシャルキャピタルとトップスポーツチーム（クラブ）の関係

- スポーツファンはファンではない者に比べてSCが高いという特徴を持つことが示唆されている。たとえば、金（2011）によれば、ヴァンフォーレ甲府のホームゲーム観戦者のSCは非ファンよりも高いことが示されている。
- また、舟木ら（2013）は千葉ジェッツのホーム観戦者のうち、ソーシャルキャピタルの高い観戦者ほどクラブの地域社会への好影響を評価している（すなわち、SCの高いファンは、社会への関心が高く、スポーツ組織に対しても社会的影響という観点から評価をしている）。
- 高橋ら（2019）は、松本山雅FCの後援会加入者に着目し、「橋渡し型（組織間をつなぐ）のソーシャルキャピタルが高い」という傾向について報告している。後援会加入者は、地縁的な活動（自治会・婦人会・老人会・青年団等）への参加頻度が非加入者よりも高い。
 - 金玆兌（2011）地域社会でスポーツ組織が担うべき役割に関する研究—コミュニティ機能の再生に向けたスポーツによるソーシャルキャピタルの醸成, SSFスポーツ政策研究, 1（1）、pp.91-100、2011
 - 舟木泰世・工藤康宏・梶原 健・涌井佐和子・野川春夫（2013）プロスポーツチームとまちづくりに関する研究—bjリーグ新規参入チームの拠点地域における住民のソーシャルキャピタルに着目して, SSFスポーツ政策研究, 2（1）、pp.126-134、2013
 - 高橋 豪仁, 橋本 純一, 橋本 政晴「地域密着型のプロスポーツとソーシャル・キャピタルに関する調査研究」奈良教育大学紀要. 68(1), 167-175, 2019

◆ ソーシャルキャピタルの構成要素について

- 本調査では、ソーシャルキャピタルの構成要素について、パットナムの「ネットワーク」「信頼」「規範」という3つの要素を基にした内閣府（2003）による操作的定義と調査項目を用いた。

1. 「ネットワーク」に対応する近隣でのつきあいや社会的な交流を捉えた「つきあい・交流」の要素
2. 他人に対する一般的な、あるいは特定の人を対象とした「社会的信頼」を捉えた「信頼」の要素
3. 「規範」のうち、互酬性の規範のあらわれとして社会的活動への参加を捉えた「社会参加」の要素



◆ 「ソーシャルキャピタル指数」の算出について（本調査では以下の方法にて指数を算出した。）

- 内閣府（2003）、内閣府（2005）、日本総合研究所（2008）、滋賀大学・内閣府（2016）などわが国におけるソーシャルキャピタルの調査で良く用いられており、参照可能な調査項目を用いた。
- 当該設問（P41-44記載）で得点化した調査結果をそれぞれ平均0、標準偏差1になるように標準化し、3つの構成要素それぞれの指数とした上で、3つの構成要素それぞれの指数値の単純平均をとったものを「総合指数*」として評価した。

- R. パットナム、河田潤一訳「哲学する民主主義—伝統と改革の市民的構造」NTT出版、2001
- 内閣府「ソーシャル・キャピタル：豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」2003、p.37
- 日本総合研究所「日本のソーシャル・キャピタルと政策～日本総研 2007年全国アンケート調査結果報告書～」
- 2008年3月、pp.15-16

1. 「信頼」指数の調査項目

a. 一般的な信頼

i.	Q4	SA	あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。あなたの考えに近いと思うレベルの数値を1つお答えください。		
			1	ほとんどの人は信頼できる	9点
			2		
			3		
			4		
			5	両者の中間	5点
			6		
			7		
			8		
			9	注意するに越したことはない	1点
10	わからない	0点			
ii.	Q5	SA	それでは「旅先」や「見知らぬ土地」で出会う人について信頼できると思いますか。それとも信頼できないと思いますか。あなたの考えに近いと思うレベルの数値を1つお答えください。		
			1	ほとんどの人は信頼できる	9点
			2		
			3		
			4		
			5	両者の中間	5点
			6		
			7		
			8		
			9	注意するに越したことはない	1点
10	わからない	0点			

2. 「つきあい・交流」指数の調査項目

a. 近隣でのつきあい

i.	Q6	SA	あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。（つきあいの程度）		
			1	お互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力し合っている人もいる	4点
			2	日常的に立ち話しをする程度のつきあいはしている	3点
			3	あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない	2点
			4	つきあいは全くしていない	1点
ii.	Q7	SA	あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。（つきあっている人数）		
			1	近所のかかなり多くの人と面識・交流がある（概ね20人以上）	4点
			2	ある程度の人と面識・交流がある（概ね5～19人）	3点
			3	近所のごく少数の人とだけ面識・交流がある（概ね4人以下）	2点
			4	隣の人がだれかも知らない	1点

2. 「つきあい・交流」指数の調査項目

a. 近隣でのつきあい

i.	Q8	SAMX	あなたは以下のそれぞれについてどの程度の頻度でつきあいをされていますか	
	表側	「1」	友人・知人とのつきあい（学校や職場以外で）	
	表側	「2」	親戚・親類とのつきあい	
	表側	「3」	職場の同僚とのつきあい（職場以外で）	
		1	日常的にある（毎日～週に数回程度）	5点
		2	ある程度頻繁にある（週に1回～月に数回程度）	4点
		3	ときどきある（月に1回～年に数回程度）	3点
		4	めったにない（年に1回～数年に1回程度）	2点
		5	全くない（もしくは該当する人がいない）	1点

ii.	Q11	SAMX	あなたは現在、以下のような地域の活動をされていますか	
	表側	「2」	スポーツ活動（各種スポーツ参加）	
	表側	「3」	趣味・娯楽活動（芸術文化活動、生涯学習等）	
		1	活動している	1点
		2	活動していない	0点

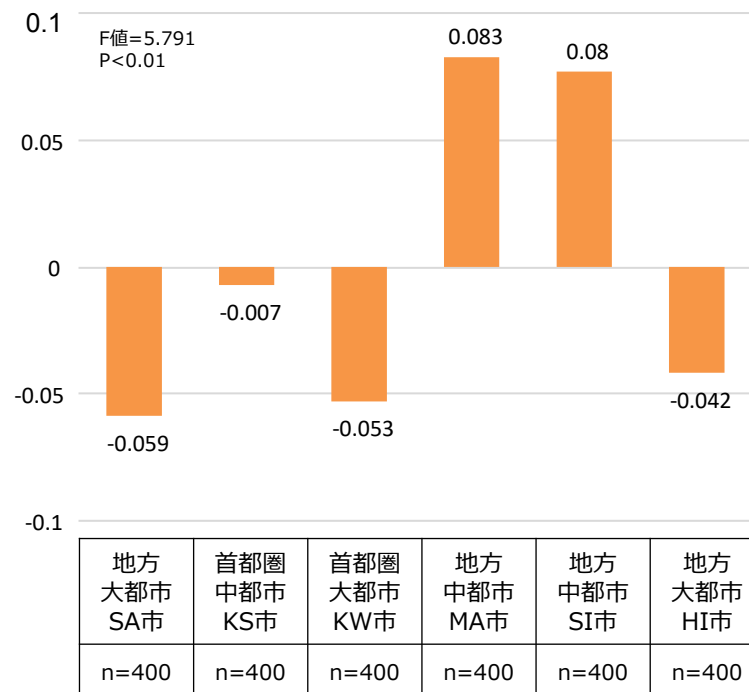
3. 「社会参加」指数の調査項目

a. 社会参加

i.	Q11	SAMX	あなたは現在、以下のような地域の活動をされていますか	
	表側	「1」	地縁的な活動（自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会等）	
	表側	「4」	ボランティア・NPO・市民活動（まちづくり、高齢者・障害者福祉や子育て、美化、防犯・防災、環境、国際協力、提言活動等）	
		「5」	ボランティア（スポーツ指導や審判、団体・クラブの運営や世話、飲料や食事の準備、子供の送迎など）	
	表側 +FA	「6」	その他の団体活動（商工会・業種組合、宗教、政治等 その他（具体的に））	
		1	活動している	1点
		2	活動していない	0点

◆ SCの都市間比較

- 「SC総合指数」は都市間で有意な差があり、概ね 地方中都市 MA市、地方中都市 SI市 > 首都圏中都市 KS市 > 首都圏大都市 KS市 > 地方大都市 HI市、地方大都市 SA市の順。
- 地方大都市 SA市が低いこと、大規模都市（首都圏大都市 KS市、首都圏中都市 KS市、地方大都市 HI市、地方大都市 SA市）に対して地方中都市 MA市、地方中都市 SI市といった中規模都市のSCが高いことは、概ね先行研究通り。



4-1 Jクラブファンのソーシャル・キャピタル（SC総合指数）

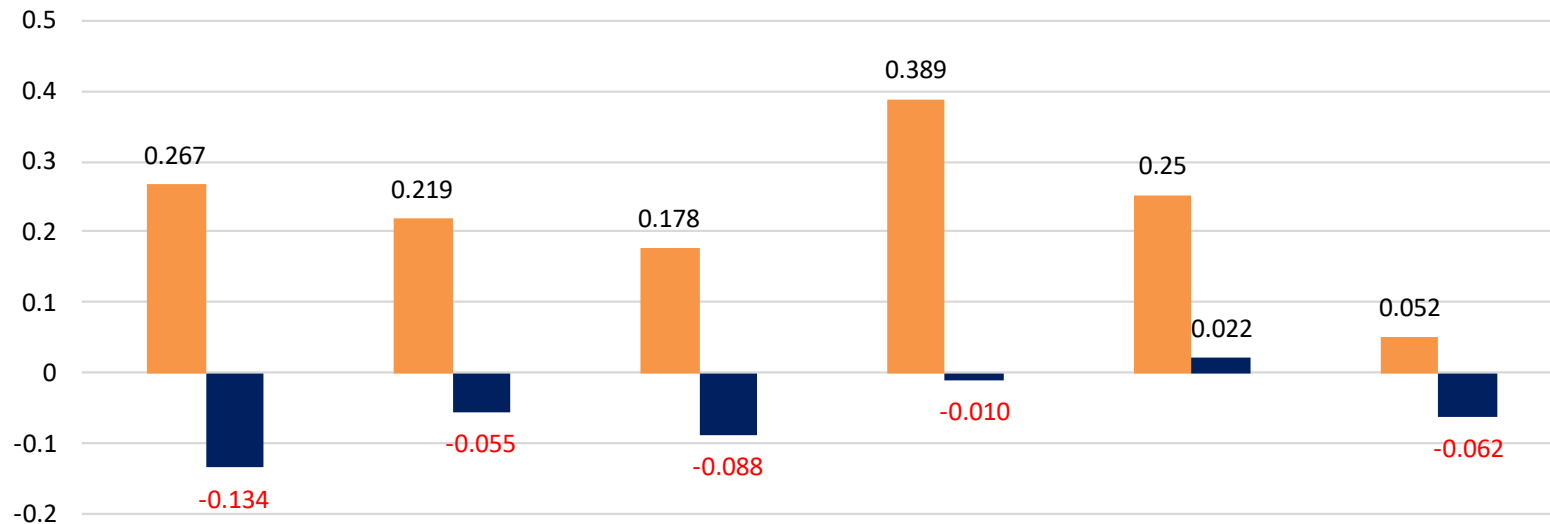
- Jクラブのファンと非ファンのSCについて、都市ごとに比較した。
- 地方大都市 HI市以外の都市において、Jクラブファン・サポーターのSC総合指数は、いずれの要素においても非ファン・サポーターよりも有意に高い（地方大都市 HI市のみ $p < 0.1$ ）。

地方大都市 SA市、首都圏中都市 KS市、首都圏大都市 KW市、
地方中都市 MA市、地方中都市 SI市： $p < 0.05$

地方大都市 HI市： $p < 0.1$

SC総合指数

■ Jリーグファン ■ 非ファン



	地方大都市 SA市	首都圏中都市 KS市	首都圏大都市 KW市	地方中都市 MA市	地方中都市 SI市	地方大都市 HI市
--	-----------	------------	------------	-----------	-----------	-----------

Jクラブファン	n=75	n=70	n=52	n=94	n=96	n=71
非ファン	n=325	n=330	n=348	n=306	n=304	n=329

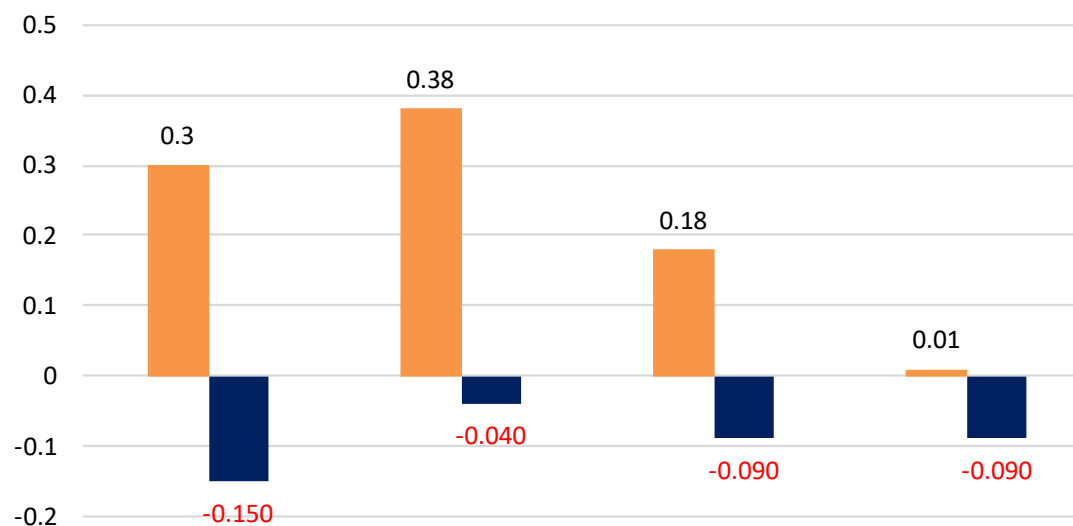
4-2 NPB球団ファンのソーシャル・キャピタル（SC総合指数）

- NPB球団のファンと非ファンのSCについて、都市ごとに比較した。
- NPB球団ファンのSC総合指数は、非ファンよりも有意に高い。
- 地方大都市HI市のNPB球団ファンのSCが他の都市に比べて低いのは、広く多くの人々が地方大都市HI市のNPB球団ファンであるためと考えられる。

地方大都市 SA市、首都圏中都市 KS市、首都圏大都市 KW市、
地方大都市 HI市：p<0.05

SC総合指数

■ NPB球団ファン ■ 非ファン



	地方大都市 SA市	首都圏中都市 KS市	首都圏大都市 KW市	地方大都市 HI市
NPB球団ファン	n=106	n=28	n=33	n=183
非ファン	n=294	n=372	n=367	n=217

◆ 調査都市のソーシャルキャピタル（SC）

- ソーシャルキャピタルは、地方中都市で高い一方、大都市では低い。

◆ トップスポーツクラブファンのソーシャルキャピタル（SC）

- Jクラブ・NPB球団ともに非ファンよりファンの方がソーシャルキャピタルが高い。
- また、NPB球団ファンの方が、Jクラブファンよりもソーシャルキャピタルが高い傾向がみられる。